

# 学校だより 1月号

地域と連携し、「今を精いっぱい  
生きる」生徒を育む学校

狭山市立柏原中学校  
TEL 2954-5073

- ◎東日本大震災被災者の皆さまに、心からお見舞い申し上げます。
- ◎皆さまの安全と一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

## 夢や目標を持つ

校長 田中茂樹

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

今年度は、保護者や地域の皆様の体育祭、弁論大会・音楽会などの校内行事への参加が増え、生徒のやりがいを高めていただいております。これらのことをはじめとして、家庭と地域のとの強い連携を図られる中で、学校の勢いが増しております。本当に有り難いと思っています。

さて、1月になりました。各学年とも締めくくりの段階に入ります。子どもたちは、この節目の中で『今年こそは』と、新しい夢を描いたり目標を立てたりしていると思います。それぞれの学年や立場に応じた夢や目標の設定は、その後の成長に重要な役割を果たします。

3年生はあとわずかです。残された中学校生活の締めくくり方が重要です。締めくくりがよければ新たな進路先での活動も充実したものになります。2年生は、3年生に代わって最高学年としての動きが求められます。学校の顔として気概を持つとともに、進路選択を現実のものにしていかなければなりません。1年生は、もうすぐ『先輩』と呼ばれるようになります。学校をリードする意識を高めるとともに、そろそろ自分の将来を見極めなければなりません。

雑誌や新聞等でも、各界で活躍している人が子どもの時に夢や目標を持っていて、それに向かって努力したということがよく紹介されます。そういう人は、時にはあきらめたり方向転換したりしても、その時々新たな夢や目標を設定しています。昨年からはじめた『土曜寺子屋学習会』をともにはじめた狭山青年会議所の方々と話をすると、必ず『夢を追うことの大切さ』を語っています。夢や目標に向かって努力し続ける姿勢が、その人を成長させ、確固たる成果を生み出していくのです。

今年は、各家庭で夢や希望についての会話を心掛けてみてください。目的意識を高く持った子どもほど確かな成長をするものです。子どもの着実な成長は何気ない日々の努力の積み重ねによって成し遂げられるものです。

## 落ち着いて学習できる3学期、次のステージに向けて

右上の1月の主な行事を見ても分かるように、今月は大きな行事等はあまりありません。これは3学期全体にいえることで、3つの学期では一番短い学期ですが、授業数が多く、授業にゆっくり取り組める学期です。新たな知識や考え方を身に付けるとともに1年間のまとめをしっかりやってほしいと思います。

(裏面へ)

### 1月の主な行事等予定

- 1 / 1 (日) 元旦
- 7 (土) 市PTA連合会新年のつどい  
土曜寺子屋 8:50~11:00
- 9 (月) 成人の日
- 10 (火) 始業式
- 11 (水) 避難訓練
- 12 (木) 集金日
- 13 (金) 専門委員会
- 14 (土) 土曜授業日・豚汁会  
3限:全校一斉道徳授業公開  
土曜寺子屋 14:00~15:30
- 16 (月) 教育に関する3つの達成目標検証テスト
- 17 (火) 学年朝会・3daysチャレンジ
- 18 (水) 3daysチャレンジ
- 19 (木) 3daysチャレンジ
- 21 (土) 土曜寺子屋 8:50~11:00
- 24 (火) 学校朝会
- 27 (土) 土曜寺子屋 8:50~11:00
- 31 (火) 生徒朝会

※予定ですので変更になる場合があります。ご了承ください。

中学校において3学期は、よく1年のまとめの学期と言われます。もちろん、3学期に新しく学習する内容も多くありますが、1、2学期に学習した内容をどれだけ理解し、その学年で習得すべき力をしっかりと身に付けられたか、確認し、また補充する学期でもあります。



プロ野球では、オフシーズンのこの時期に、自主トレーニングやキャンプを実施して、次年度を戦う技術の向上をめざした取り組みを行うわけです。中学生の勉強についても同じようなことが言えます。この時期は次年度のために基礎的な力をつけ、更に力を伸ばす大切な時期なのです。

また、この時期は入試制度の変更もあり、1～3年生にとって大きな行事もなく学校で集中して授業に取り組める時期でもあります。特に2月は、28日という短い月ですが、大きな行事はなく、落ちついて授業に取り組める月です。

では、この3学期、どのような生活をすればよいのでしょうか。

まずは、当たり前のことですが毎日の1時間1時間の授業に集中して取り組むことです。この時期に習うことは授業できちんと身に付けることが大切です。それとあわせて、1、2学期に学習した内容の復習と苦手な教科や単元への取組をすることが、次年度への力となります。

各学年で言うと、

**3年生**はまさに、進路実現に向けて取り組む時期です。1月には私立高校の入試もあります。早い人はそこで進路先が決まる人もいることでしょう。また、公立高校受検する人は3月の受検まで頑張らなければなりません。ただ、進路先が決まろうと、決まっていまいと、どちらの生徒にとってもこの時期の学習（特に授業）は大切です。進学をする人は、上級学校で学習することの基礎となるのが中学校での学習内容です。進学できればそれでおしまいという訳にはいきません。新たなスタートラインに立つわけですから、これから走り出す力を身に付けていなければ、遅れをとることになります。また、就職を考えている人は、義務教育を終了するわけですから、社会に出て必要な最低限度の力をぜひ身に付けて卒業できるようにしてほしいものです。とにかく、お互いの進路実現のため、緊張感のある授業への取り組みができることが大切です。

**2年生**は、来年の進路決定に向けて、学習面でスタートをきる時期です。いままで多くの卒業生を見ても、この時期から本格的に学習や自分の進路について考え始めた生徒は、3年生になってから、スムーズに自分の進路について考え、取り組んでいました。授業をしていても「勉強を怠らな」と思われる生徒が増えてくるこの時期です。2年生にとっては、これからの勉強（学習内容）が来年度の進路決定に一番影響してくるものにもなります。また、1、2年で学習した内容の復習が必要な時期です。ぜひ、毎日の授業で新しい内容をしっかりと身に付けるとともに、1、2年で学習した内容（特に苦手な教科・単元）の復習をできるようにしてほしいものです。

最後に**1年生**は、まず、1月に行われる職場体験（3 daysチャレンジ）にしっかり取り組みましょう。教科の勉強はもちろん大切ですが、様々な仕事を体験し、生き方について考えることとても大切なことです。できたら、自分の体験した仕事について家族に話をし、自分の将来について家族で話し合う機会がもてるとすばらしいと思います。また、中学校に入学してから学習したことを復習し、身に付けるのもこの時期です。授業と復習を大切にしていきましょう。